

個々の自立で社会再生

「お前も大会が...」と、代表チームも大会が始まるまでは絶望的な状況にあった。何が悪いと言いつつ、チームの体をなしてやらねえ、覇気がなかった。私の目には、選手たちが自分をアピールするプレーばかりしているように映った。

それがなぜ、ひと月もたらずに大変貌を遂げられたのか。私の考えでは、選手たちが「親離れ」できたということだ。監督頼みやめて自分たちでどうにかしないと、どうにもならない、と目覚めたのだ。

そのきっかけを作ったのが、今年の5月下旬、韓国戦に負けたときに岡田監督が会見で漏らした「自分が続行していいの？」という発言だろう。岡田監督は選手の自覚を促すために、捨て身であるような言葉を口にしたのではないかと、おまえたちが弱気にな



W杯のブラジレイ戦を前に、今年5月下旬、韓国戦に負けたときに岡田監督が会見で漏らした「自分が続行していいの？」という発言を前に、選手たちが自覚を促すために、捨て身であるような言葉を口にしたのではないかと、おまえたちが弱気にな

る。そういう決意表明だったと思う。誇り高い選手が、「俺は代表に選ばれたような人間だ、もっとできる」と思うのではなく、「自分たちは能力が低いのだ」と認めることは、厳しい体験だっただろう。だが、誰も助けられない状況に追い込まれて、選手たちは虚飾を脱ぎ捨て、裸になった。そして初めてお互いの姿

この代表から私たちが学ぶことは、自分たちも親離れをしよう、ということに尽きる。代表の活躍にみんなが盛り上がるのはいいい。だが代表選手

そのような状態では、代表選手たちが感じたであろう充実感には、いつまでもたつても届かない。「感動をありがとう」ではなく、自分の感動は自ら作り出すという意思を持つてこそ、他人との絆も生み出せる。誰かが何かをしてくれるのを求めたり、何もしてくれないことにけちをつけているばかりでは、孤立は深まるだけだ。

せつかく日本代表が、親離れすれば生まれ変わる、という実例を示してくれたのだ。私たちが、自分の道を進もうてはないか。

これか 早大教授 暴力

相撲とは何か。今、問われているのはそのことだ。相撲は2千年の歴史を持つといわれる。なるほど、組み合ってお互いの力を試す行為は東西を問わず昔から見られる。旧約聖書にも出てくるし、古代オリンピックの競技にもなっていた。

とはいえ、大相撲は江戸時代にその原型ができて、いろいろと変容しながら現在に至っている。例えば、最近の関心の中心は場所での優勝だが、江戸時代を通じて優勝制度はなかった。

NHKは名古屋場所の生中継を中止した。テレビ、ラジオを含めて初めてのことである。しかし、NHKはただ世論(視聴

賭博ももちろんだが、けいこという名目の下のいじめと暴力は最も正さなければならぬことだろう。そういう体質は、すべての不祥事の根源にあるといえる。

実は、私の気持ちは複雑だ。研究者でありながら、一人の好角家でもある。場所中、取組を録画しておいて、帰宅してから見るのは大きな楽しみである。

北海道交通網の将来展望

北大大学院准教授 岸 邦宏



管内浜益村(現石狩市)生まれ。北大大学院博士後期課程修了。同院助手を経て08年から現職。専門は交通計画・交通工学・都市計画。

交通や公共施設が不便であるべきか問われている。一方で、「公共事業は税金の無駄遣い」というイメージを多くの人が持っている。その中で仕事をやっているか重要であり、人間が人間らしい生活を送るための根本になることとして、「人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業」として必要なのは、もうないのだろうか?

筆者はこれまで、北海道の地方都市で定住意識に関する研究を行ってきた。そこから明らかになったことは、人々は十分な仕事があれば、公共

交通や公共施設が不便であるべきか問われている。一方で、「公共事業は税金の無駄遣い」というイメージを多くの人が持っている。その中で仕事をやっているか重要であり、人間が人間らしい生活を送るための根本になることとして、「人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業」として必要なのは、もうないのだろうか?

筆者はこれまで、北海道の地方都市で定住意識に関する研究を行ってきた。そこから明らかになったことは、人々は十分な仕事があれば、公共

交通や公共施設が不便であるべきか問われている。一方で、「公共事業は税金の無駄遣い」というイメージを多くの人が持っている。その中で仕事をやっているか重要であり、人間が人間らしい生活を送るための根本になることとして、「人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業」として必要なのは、もうないのだろうか?

各自の核論

土曜日に掲載します

古代ローマは、大規模な土木事業の上に国家が成立し、「すべての道はローマに通ず」とあるように、交通基盤も整備されていた。古代ローマ人にとってのインフラストラクチャー(社会資本)はMores Necessaries(生活に必要不可欠な物)といいい、「人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業」とされていた(塩野七生著「ローマ人の物語10」)。

産業支える視点不可欠

そして現在、北海道はすでに人口減少・高齢化社会に突入しており、いかにして地域を持続していくか、そのため

新艇・中古艇 合同展示会開催!

7月24日(土)・25日(日)

会場/ 小樽港マリーナ ポート・ヨット展示場

時間/ 10:00~16:00 入場無料

抽選会 ご来場者アンケートにご協力頂いた方に景品が当たります!

小樽港マリーナ 時空由古艇